

Technics®

取扱説明書

ステレオインテグレートッドアンプ

SU-C700

音楽は、国を越えて、世代を越えて、

人の心を揺さぶり続けます。

そして時代はいつも、

新しい感動を求めています。

まだ経験したことのない音との出会い。

音楽を愛するすべての人に、

再び心ふるわせる喜びを。

Rediscover Music™

Technics

はじめに

このたびは、テクニクス製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(6～9ページ)を必ずお読みください。
- 保証書(別添付)は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

■ 本機の特長

本機には下記の特長があります。

高精度ジッター削減 PWM 変換回路搭載フルデジタルアンプ

独自のジッター削減回路および高精度 PWM 変換回路を搭載することにより、歪み・ノイズ・ジッターを徹底して排除したフルデジタルアンプです。

LAPC (Load Adaptive Phase Calibration)

周波数振幅・位相特性を平坦化するスピーカー負荷適応処理で空間表現豊かな音を再現します。

高速かつローノイズな大容量安定化電源

大電流型ショットキー・バリア・ダイオード、大容量コンデンサによる整流回路、安定化電源の組み合わせにより、ローノイズ・大容量の電源を構成し、徹底的に電源を強化しています。

■ 推奨機器について

よりよい音質でお楽しみいただくため、当社製機器(別売)をお勧めします。

品名	品番
ネットワークオーディオプレーヤー	ST-C700
コンパクトディスクプレーヤー	SL-C700 [※]
スピーカーシステム	SB-C700

※ 2015年3月発売予定です。

■ 本書内の表現について

- 参照していただくページを(⇒ 00)で示しています。
- イラストが実物と多少異なる場合がありますが、ご了承ください。
- 本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください。(⇒ 6～9 ページ)

付属品	10
使用上のお願い	11
設置について	11
つゆつきについて	11
お手入れ	11
各部の名称と働き	12
本体	12
リモコン	13
準備する	14
スピーカーと接続する	14
ST-C700/SL-C700 とシステム接続する	15
アナログ音声出力機器と接続する	16
デジタル音声出力機器と接続する	16
電源コードを接続する	17
スピーカー接続時のアンプの出力特性を測定し、出力を補正する	17
操作する	18
電源の切り忘れを防ぐ（オートオフ）	18
リモコンモードを変更する	18
システム接続機能を使う	19
パソコンなどの音楽を楽しむ	20
故障かな！？	21
仕様	22
保証とアフターサービス	24

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。



警告



電源プラグを抜く

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。



電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど) 傷んだまま使用すると、感電やショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。



電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない
- 火のそばや炎天下など高温の場所で使用・放置しない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。



電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。



電池は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

安全上のご注意 (必ずお守りください) (続き)

 警告	
	<p>内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。 ● 特にお子様にはご注意ください。
	<p>ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>分解、改造をしない 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。</p>
 <p>ぬれ手禁止</p>	<p>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない 感電の原因になります。</p>
 <p>接触禁止</p>	<p>雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない 感電の原因になります。</p>
	<p>使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。</p>
	<p>電源プラグのほこり等は定期的にとる プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。



注意

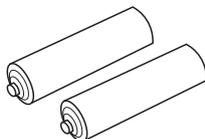
	<p>不安定な場所に置かない 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない 倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。</p>
	<p>コードを接続した状態で移動しない 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。 また、引っかかって、けがの原因になることがあります。</p>
	<p>本機をつまみやレバーをつかんで持ち上げたり、運んだりしない 落下すると、けがの原因になることがあります。 また、製品の故障の原因にもなりますので、ご注意ください。</p>
	<p>本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない 倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。 また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。</p>
	<p>放熱を妨げない 内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 天面の通気孔をふさがないでください。 ● 天板の上に物を置かないでください。 ● また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。
	<p>異常に温度が高くなるところに置かない 温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。 ● また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。
	<p>油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。</p>
	<p>ヘッドホン接続前に、音量を下げる 音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 音量は少しずつ上げてご使用ください。
	<p>長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す 液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。</p>
 電源プラグ を抜く	<p>長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く 通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。</p>

付属品

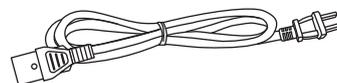
リモコン (1 個)
N2QAYA000096



リモコン用乾電池 (単 4 形、2 本)



電源コード (1 本)
K2CA2YY00296



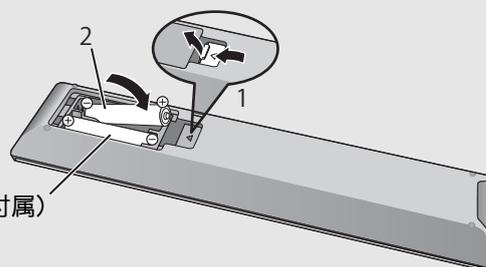
- 付属品の品番は2014年11月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 本機を廃棄する場合は、地方自治体の条例に従ってください。

■ リモコンの準備

電池を入れてください。

- ⊕ ⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- 本機のリモコン受信部 (⇒ 12) に向けて、まっすぐ操作してください。

単 4 形乾電池 (付属)



付属品や別売品 (⇒ 4) は販売店でお買い求めいただけます。パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニックストア」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。
<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト

 **Panasonic Store**

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC
<http://club.panasonic.jp/>

※ このサービスは WEB 限定のサービスです。

携帯



使用上のお願い

設置について

- 熱源となるものの上に設置しないでください。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しないでください。
- 「つゆつき」が起りにくい場所に設置してください。
- 不安定な場所に設置しないでください。
- ものを上に載せないでください。
- 本棚の中など狭い空間に設置しないでください。
- タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
 - － 急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
 - － 湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
 - － 梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約2～3時間）、電源を切ったまま放置してください。

お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、柔らかい布で軽くふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学雑巾は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

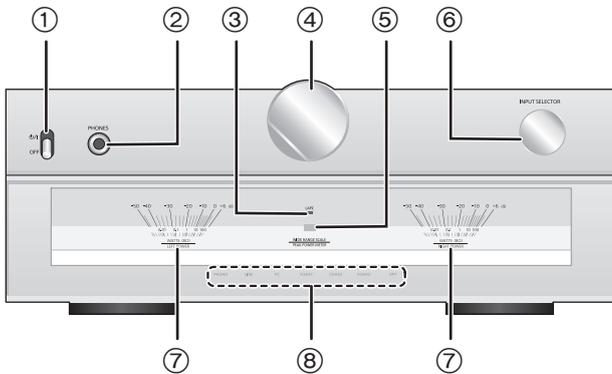


音のエチケット
シンボルマーク

各部の名称と働き

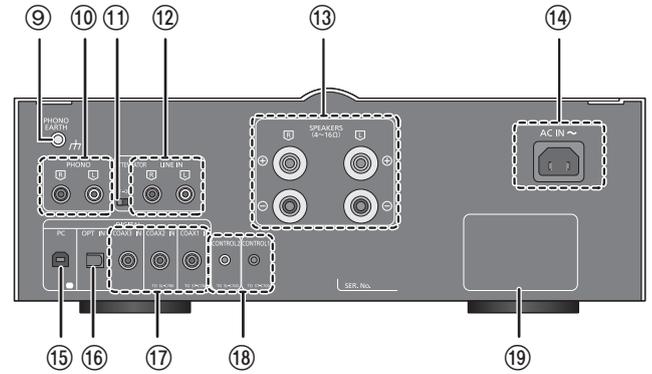
本体

■ 前面



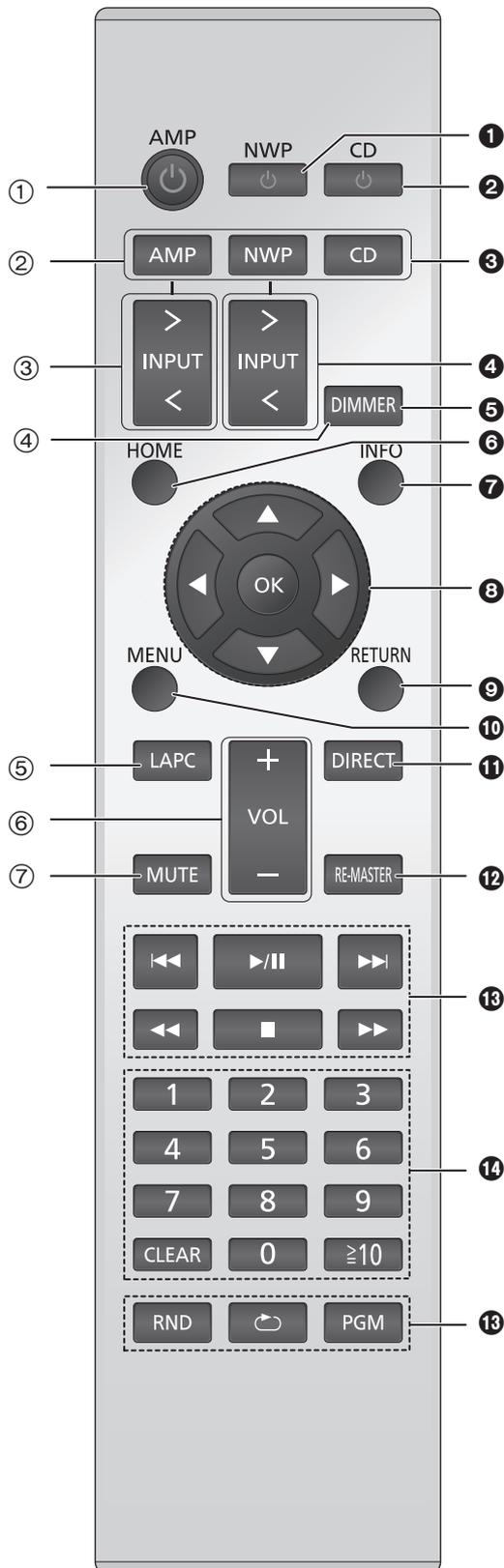
- ① 電源スイッチレバー
本機の状態（電源入 / 切）を切り替えます。
 - 本体の電源スイッチレバーが下がっている状態の場合、リモコンの操作は働きません。
- ② ヘッドホン端子
ヘッドホンプラグを接続します。
 - ヘッドホンプラグを接続している状態の場合、スピーカーから音声は出力されなくなります。
- ③ LAMP インジケータ（⇒ 17）
アンプの出力補正が「入」の場合、インジケータが点灯します。
- ④ 音量つまみ
音量を調節します。
 - 消音状態の場合、つまみを左の端まで回してから右に回すと、消音は解除されます。
- ⑤ リモコン受信部
受信範囲
正面…約 7 m 以内
左右…各約 30°
- ⑥ 入力切換つまみ
左右に回して入力ソースを切り換えます。（⇒ 18）
- ⑦ PEAK POWER METER
出力レベルを表示します。
 - ライトが点灯していない状態の場合、PEAK POWER METER は動作しません。
 - ヘッドホンプラグを接続している状態の場合、PEAK POWER METER は動作しません。
- ⑧ 入力インジケータ（⇒ 18）
選択されている入力ソースのインジケータが点灯します。
 - 機器と接続していない状態で [PC]、[COAX1]、[COAX2]、[COAX3]、[OPT] を選ぶと、インジケータは点滅します。

■ 背面



- ⑨ PHONO EARTH 端子 [PHONO EARTH] (⇒ 16)
レコードプレーヤーのアース線を接続します。
- ⑩ アナログ音声入力端子 [PHONO] (⇒ 16)
レコードプレーヤーと接続します。
 - MM カートリッジ対応です。
- ⑪ アッテネーター [ATTENUATOR]
[LINE IN] 端子に接続中に音声がひずむ場合は [ON] に切り換えてください。
- ⑫ アナログ音声入力端子 [LINE IN] (⇒ 16)
- ⑬ スピーカー出力端子 [SPEAKERS] (⇒ 14)
- ⑭ AC 入力端子 [AC IN ~] (⇒ 17)
- ⑮ デジタル音声入力端子 [PC] (⇒ 20)
パソコンなどと接続します。
- ⑯ デジタル音声入力端子 [OPT IN] (⇒ 16)
- ⑰ デジタル音声入力端子 [COAX1 IN]/[COAX2 IN]/[COAX3 IN] (⇒ 15、16)
- ⑱ システム端子 [CONTROL1]/[CONTROL2] (⇒ 15)
- ⑲ 定格銘板
 - 製品品番は定格銘板内に記載されています。

リモコン



■ 本機に働くボタン

- ① [AMP 冫] : 本機の状態（電源入 / スタンバイ）を切り替える
- 本体の電源スイッチレバーが下がっている状態の場合、リモコンの操作は働きません。

- ② [AMP][NWP][CD] : 操作する機器を選ぶ

[AMP]	[LINE] インジケーターが点灯
[NWP]	[COAX1] インジケーターが点灯
[CD]	[COAX2] インジケーターが点灯

- ③ [>INPUT<] : 入力ソースを切り換える (⇒ 18)

- ④ [DIMMER] : ライトやインジケーターの明るさを調整する。

押すたびに明るさが切り替わります。

- ⑤ [LANC] : スピーカー接続時のアンプの出力特性を測定し、出力を補正する (⇒ 17)

- ⑥ [+VOL-] : 音量を調節する

- ⑦ [MUTE] :

一時的に消音する

入力インジケーターが点滅します。

- 解除するにはもう1度押してください。

- 消音状態の場合、PEAK POWER METER は動作しません。

電源の切り忘れを防ぐ（オートオフ）(⇒ 18)

■ ST-C700/SL-C700 に働くボタン

本機のリモコンは、ST-C700/SL-C700 にも働きます。

ST-C700/SL-C700 の詳しい操作方法は、それぞれの

取扱説明書をご覧ください。

- ① ST-C700 の状態（電源入 / スタンバイ）を切り替える

- ② SL-C700 の状態（電源入 / スタンバイ）を切り替える

- ③ 操作する機器を選ぶ

- ④ ST-C700 の入力ソースを切り換える

- ⑤ 表示窓の明るさを調整する

- ⑥ ホーム画面を表示する

- ⑦ 情報を表示する

- ⑧ メニューや設定画面などで選んで決定する

- ⑨ 前の画面に戻る

- ⑩ メニュー画面に入る

- ⑪ ダイレクトモードを入 / 切する

- ⑫ リ・マスターを入 / 切する

- ⑬ 再生操作ボタン

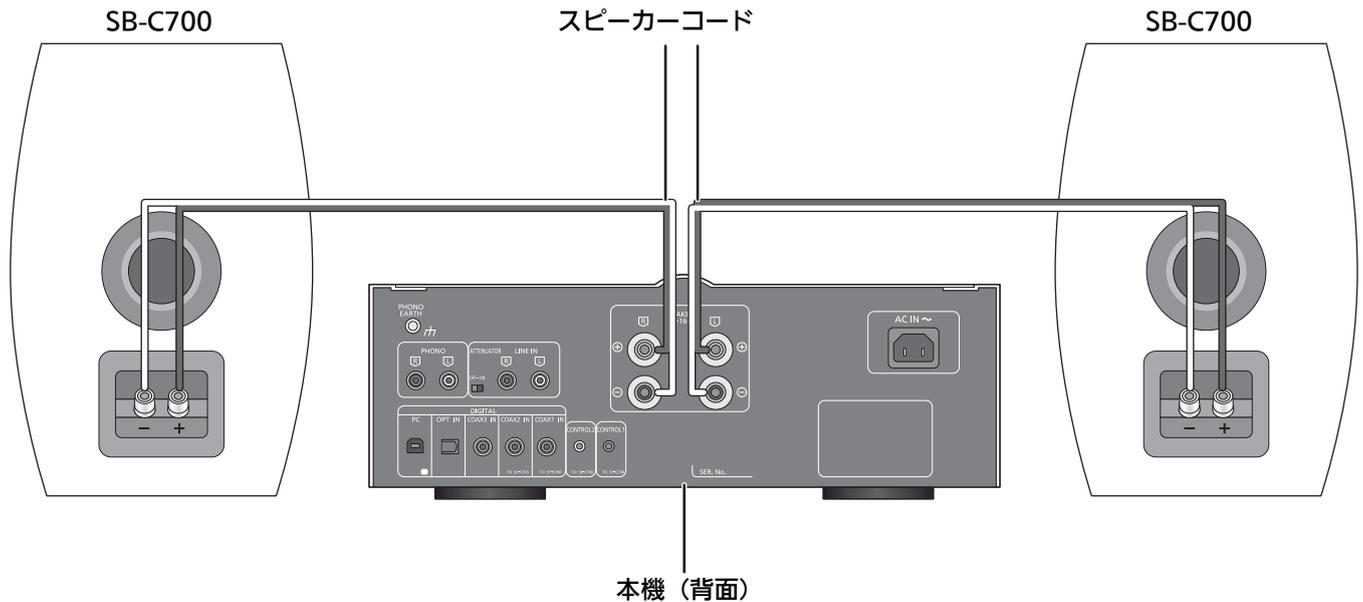
- ⑭ 数字ボタンなど

準備する

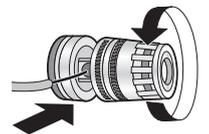
- 機器の接続や変更を行う場合は、必ず本機や他の機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで差し込んでください。
- ケーブルを急な角度で折り曲げないでください。

スピーカーと接続する

例：



1 つまみを回してゆるめ、穴に芯線を差し込む

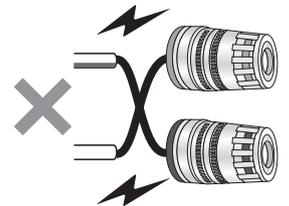


2 つまみを締める



お願い

- ケーブルの先端が端子に確実に接続されているか、ケーブルを軽く引いて確認してください。
- スピーカーコードをショートさせないでください。アンプの回路が破損するおそれがあります。
- 端子への接続は+、-を正しく接続してください。間違えて接続した場合、正常なステレオ効果を得られなかったり、故障の原因となることがあります。

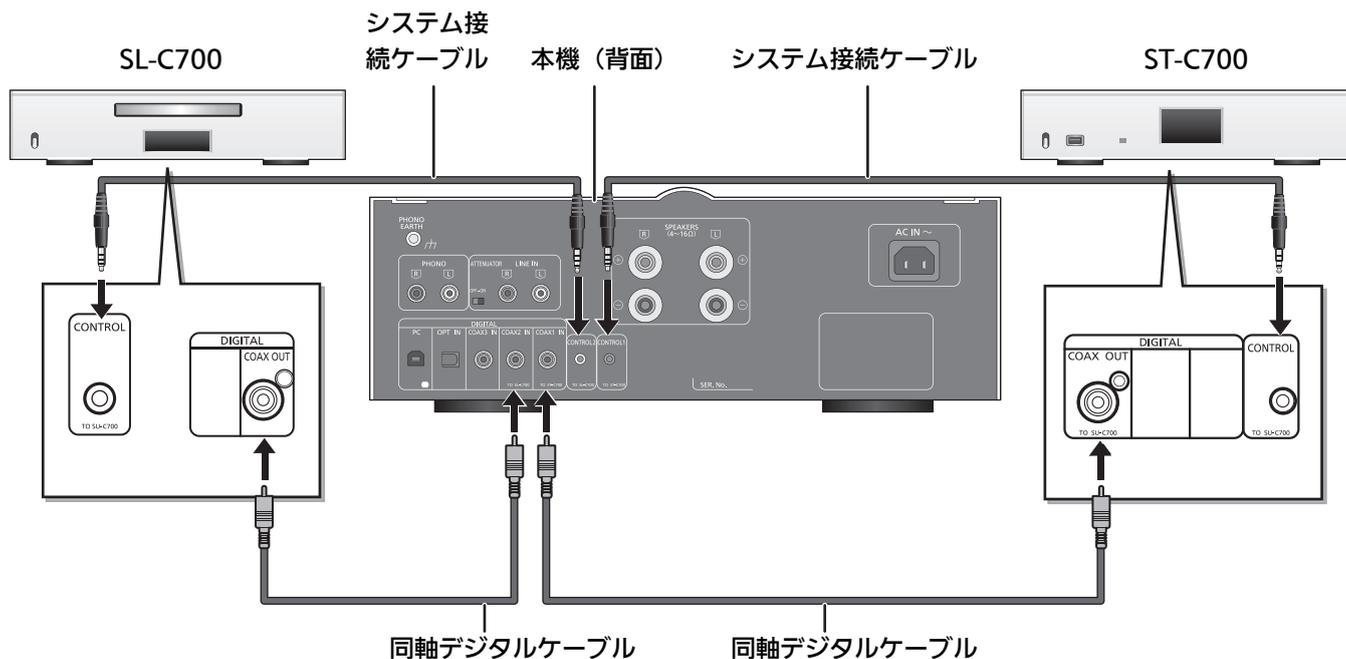


お知らせ

- スピーカーに添付の取扱説明書をご覧ください。

ST-C700/SL-C700 とシステム接続する

- 本機にデジタル音声信号を入力し、音楽を再生することができます。
- 本機と ST-C700/SL-C700 を自動的に連動させて、リモコンで簡単に操作することができます。(⇒ 19)
ST-C700/SL-C700 の詳しい操作方法は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。



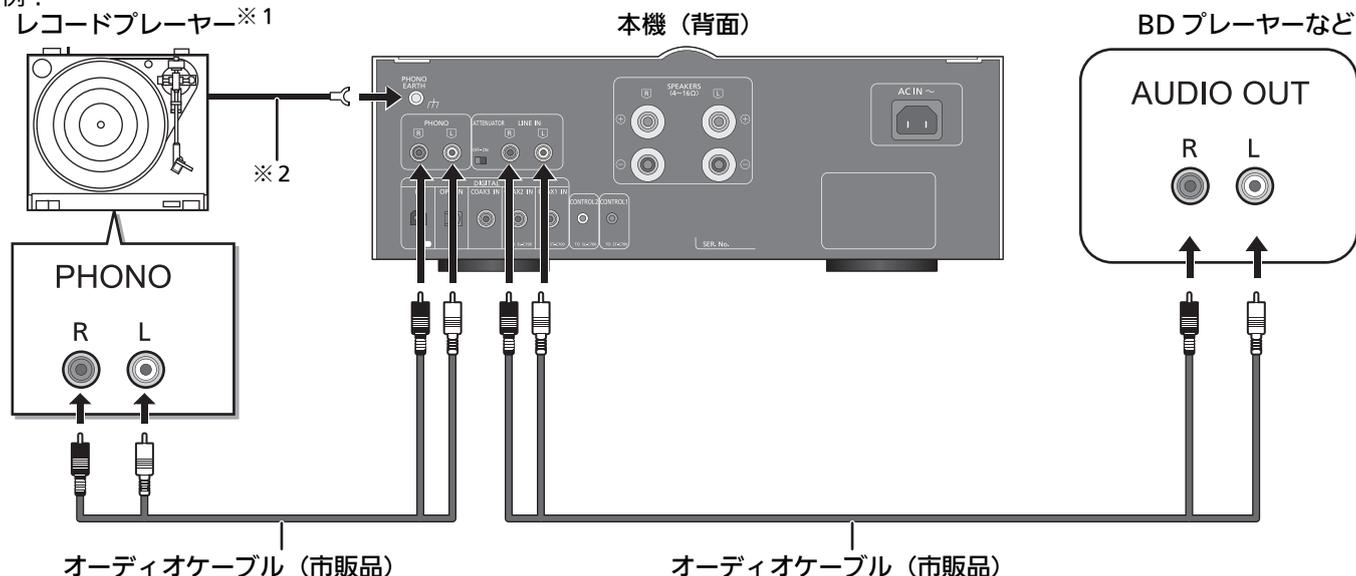
- システム接続ケーブルおよび同軸デジタルケーブルは、ST-C700/SL-C700 付属のものをお使いください。
- システム接続ケーブルは、システム接続端子 [CONTROL1]/[CONTROL2] に接続してください。
ST-C700 は [CONTROL1] に、SL-C700 は [CONTROL2] に、それぞれ接続してください。
- 同軸デジタルケーブルは、デジタル音声入力端子 [COAX1 IN]/[COAX2 IN] に接続してください。
ST-C700 は [COAX1 IN] に、SL-C700 は [COAX2 IN] に、それぞれ接続してください。

準備する (続き)

アナログ音声出力機器と接続する

本機にアナログ音声信号を入力し、音楽を再生することができます。

例：
レコードプレーヤー※1

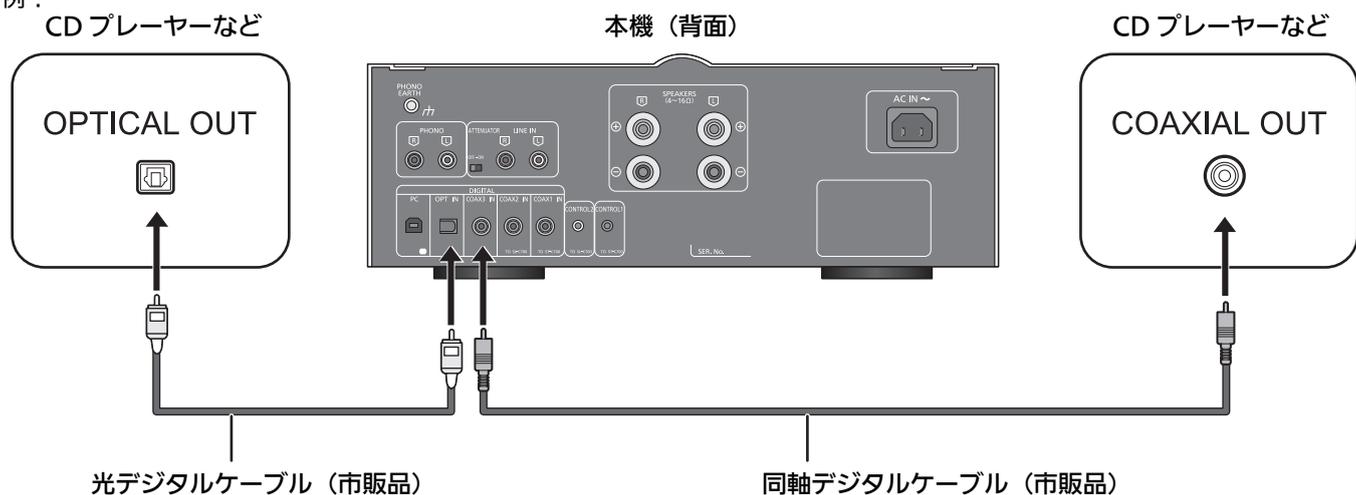


- ※1 PHONO イコライザー内蔵のレコードプレーヤーと接続する場合、ケーブルを本機のアナログ音声入力端子 [LINE IN] に接続してください。
- ※2 アース線のあるレコードプレーヤーと接続する場合、アース線を本機の PHONO EARTH 端子 [PHONO EARTH] に接続してください。

デジタル音声出力機器と接続する

本機にデジタル音声信号を入力し、音楽を再生することができます。

例：
CD プレーヤーなど



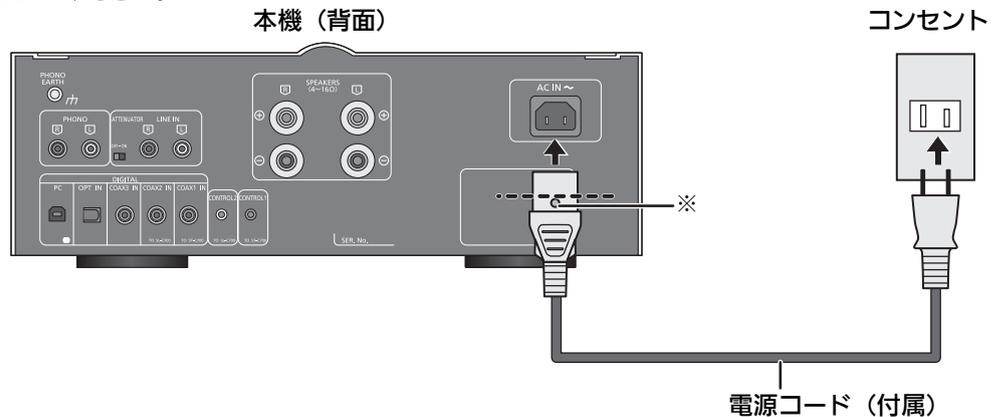
お願い

本機のデジタル音声入力、以下のリニア PCM 信号のみに対応しています。詳しくは接続機器の説明書をご確認ください。

入力端子	サンプリング周波数	量子化ビット数
同軸デジタル入力	32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz	16、24 bit
光デジタル入力	32、44.1、48、88.2、96 kHz	16、24 bit

電源コードを接続する

すべての接続が終わった後、接続してください。



※ 丸穴部分まで差し込んでください。(ただし、奥までは差し込めません)

お願い

電源プラグがすぐに抜ける位置にあるコンセントをお使いください。

お知らせ

本体の電源「切」状態でも、電源は完全には切れません。長期間使用しないときは、節電のため電源コードをコンセントから抜いておくことをお勧めします。本体の電源「切」状態でも、電力を消費しています。(電源「切」時の消費電力⇨23)

スピーカー接続時のアンプの出力特性を測定し、出力を補正する

最適な音声出力を得るためにアンプの出力特性測定や出力補正を行うことができます。

- ヘッドホンは取り外しておいてください。特性測定 / 出力補正中にヘッドホンを接続すると途中で中止されます。

測定中のテスト音について

測定精度確保のために比較的大きなテスト音がスピーカーから間欠的に出力されます。(約4分)
測定中の音量は変えることができません。

1 本体の電源スイッチレバーを [I/O] 側に切り替える

2 本体の [LAPC] インジケーターが点滅するまで [LAPC] を長押しする

アンプの出力特性の測定が始まります。左右のスピーカーからテスト音が出力されることを確認してください。

測定が終了すると自動的にアンプの出力補正が「入」に切り換わります。本体の [LAPC] インジケーターが点灯します。

- 測定中に [LAPC] を押すと測定を中止し、本体の [LAPC] インジケーターが消灯します。

■ 出力補正機能を入 / 切するには

[LAPC] を押してください。押すたびに切り換わります。

[LAPC] インジケーターが点灯	出力補正機能「入」
[LAPC] インジケーターが消灯	出力補正機能「切」

お知らせ

- 接続するスピーカーの種類によっては、出力補正機能の効果が少ない場合があります。
- 出力補正の設定は測定をやり直すまで維持されます。スピーカーを交換した場合は、出力測定をやり直してください。

操作する

- 音量を最小にしておいてください。

1 本体の電源スイッチレバーを [ON/OFF] 側に切り替える

2 [AMP] 下の [> INPUT <] を押して入力ソースを選ぶ

選択されている入力ソースのインジケータが点灯します。

PHONO	アナログ音声入力 (PHONO)
LINE	アナログ音声入力 (LINE IN)
PC	デジタル音声入力 (PC) (⇒ 20)
COAX1	<ul style="list-style-type: none">• デジタル音声入力 (COAX1 IN)• ST-C700
COAX2	<ul style="list-style-type: none">• デジタル音声入力 (COAX2 IN)• SL-C700
COAX3	デジタル音声入力 (COAX3 IN)
OPT	デジタル音声入力 (OPT IN)

3 再生する機器を操作する

4 [+VOL-] を押して音量を調整する

電源の切り忘れを防ぐ (オートオフ)

無音の状態が約 20 分間続き、その間ボタン操作などがなかった場合、電力を節約するため、自動的にスタンバイ状態に切り替わります。

1 [MUTE] を押し続ける

[PHONO] インジケータが点滅します。

2 [MUTE] を押す

押すたびに設定が切り替わります

[COAX3] インジケータが点滅	オートオフ「入」状態 (お買い上げ時の設定)
[OPT] インジケータが点滅	オートオフ「切」状態

3 [VOL-] を押す

オートオフの設定を終了します。

お知らせ

インジケータが点滅してから無操作状態が約 10 秒間続く場合も、オートオフの設定を終了します。

リモコンモードを変更する

他の機器のリモコンを操作すると、本機にも影響してしまうことがあります。このようなときは、リモコンモードを変更してください。

リモコンを本体に向けた状態で [OK] と数字ボタンを 4 秒以上押し続ける

切り換わると、[PC] と [COAX2] インジケータが約 10 秒間点滅します。

[OK] + [1]	リモコンモードが「1」に切り換わります。 (お買い上げ時の設定)
[OK] + [2]	リモコンモードが「2」に切り換わります。

お願い

システム接続している場合、ST-C700/SL-C700 のリモコンモードも変更してください。

システム接続機能を使う

本機と ST-C700/SL-C700 を自動的に連動させて、リモコンで簡単に操作することができます。

準備する

- ① システム接続ケーブルと同軸デジタルケーブルを使って本機と ST-C700/SL-C700 を接続する (⇒ 15)
- ② 本機と ST-C700/SL-C700 の電源スイッチレバーを [ON/I] 側にする

■ 本機およびST-C700/SL-C700の状態を連動して切り替える

- 本機および ST-C700/SL-C700 がスタンバイ状態のときに [AMP ON] を本機に向けて押すと、本機および入力ソースで選択されている機器の電源は自動的に「入」になります。
- 本機および ST-C700/SL-C700 が電源入の状態のときに [AMP ON] を本機に向けて押すと、本機および ST-C700/SL-C700 の電源は自動的にスタンバイ状態になります。

■ 本機の入力ソースを自動で切り換える

ST-C700/SL-C700 で再生などの操作を行うと、本機の入力ソースは自動的に [COAX 1]/[COAX 2] に切り換わります。

お知らせ

- ST-C700/SL-C700 の詳しい操作方法は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- お使いのスマートフォンやタブレットに専用アプリケーション「Technics Music App」(無料) をインストールすると、本機と ST-C700 を接続している場合に様々な機能を使って本機を操作することができます。詳しくは下記をご覧ください。

www.technics.com/support/

パソコンなどの音楽を楽しむ

本機のデジタル音声入力端子 [PC] とパソコンなどを USB ケーブル（市販品）で接続すると、パソコンなどの音楽を本機から再生できます。

お願い

パソコンと接続する場合

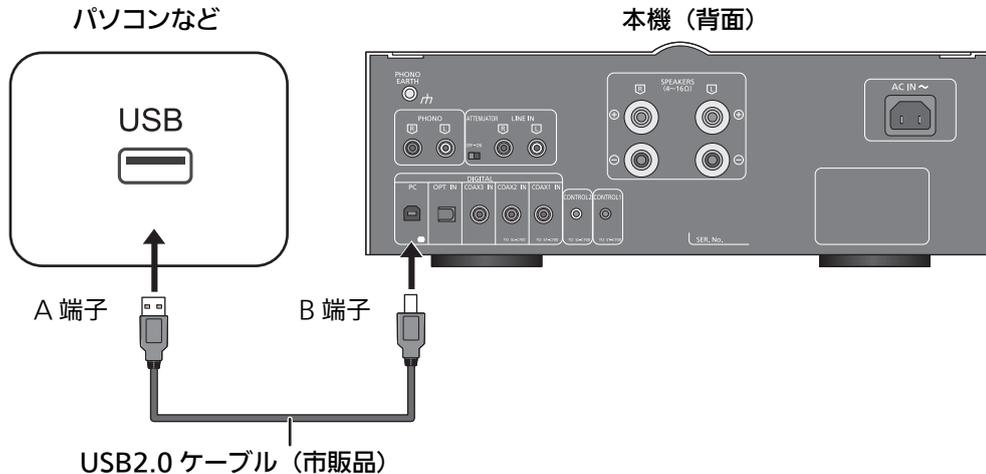
接続前に下記の操作を行ってください。

- パソコンの推奨 OS については下記をご確認ください。（2014 年 11 月現在）
 - Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1
 - OS X 10.7、10.8、10.9、10.10
- ① ご使用のパソコンに専用ドライバーソフトをダウンロード・インストールする（Windows OS のみ）
下記 URL からダウンロード・インストールしてください。
www.technics.com/support/
- ② ご使用のパソコンに専用アプリケーション「Technics Audio Player」（無料）をダウンロード・インストールする（Windows OS/OS X 共通）
下記 URL からダウンロード・インストールしてください。
www.technics.com/support/

1 本機とパソコンなどを接続する

- 本機と電源コードを接続している場合は、USB ケーブルを接続する前に本機の電源を切り、電源コードを抜いてください。

例：



2 本機と電源コードを接続する (⇒ 17)

3 本体の電源スイッチレバーを [⏻/⏪] 側に切り替える

4 [AMP] 下の [> INPUT <] を押して [PC] を選ぶ

5 パソコンなどを操作して音楽を再生する

6 [+VOL-] を押して音量を調整する

- Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- OS X は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、ここに記載のない症状のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

本機の設定をお買い上げ時の状態（工場出荷設定）に戻すには

本機の動作がおかしいと思われる場合、一度お買い上げ時の状態に戻してみると、症状が改善されることがあります。

- ① 本体の電源スイッチレバーを [OFF] 側に切り替える
- ② [AMP 0] を押しながら本体の電源スイッチレバーを [0/1] 側に切り替える
- ③ [AMP 0] を約 10 秒間押したままにする
[PC]と[COAX2]インジケータが2回点滅します。

本機が熱くなる

- 大きな音量で再生すると本機の温度が上昇しますが、異常ではありません。

再生中に「ブーン」という音がする

- 接続ケーブルの近くに他の電気機器の電源コードや蛍光灯がありませんか。他機器の電源を切るか、本機からできるだけ離してください。
- 電源プラグを逆に差し換えてみてください。
- [ATTENUATOR] スイッチを [ON] に切り替えてください。（⇒ 12）
- テレビの近くなど磁気の強い場所では、音声の品質が影響を受ける場合があります。本機をそのような場所から離してみてください。
- 通話中の携帯電話など、強度の高い電波を発する機器が近くにある場合、ノイズを出力する場合があります。

音声が正常に出力されない

- 接続方法は正しいですか。
- スピーカーが正しく接続されているか確認してください。接続を確認後、アンプの出力特性を測定してください。（⇒ 17）
- 入力ソースが正しく選択されているか確認してください。
- 接続ケーブルのプラグは奥まで差し込んでください。
- マルチチャンネルのコンテンツの再生には対応しておりません。
- 本機のデジタル音声入力端子は、リニア PCM 信号のみに対応しています。詳しくは接続機器の説明書をご確認ください。

リモコン操作ができない

- 本機の受信部とリモコンの間に障害物がありませんか。（⇒ 12）
- 本機とリモコンのリモコンモードが異なっている場合は、リモコンのリモコンモードを本機と合わせてください。（⇒ 18）

本機のリモコンで他の機器が誤動作する
他の機器のリモコンで本機が誤動作する

- 他の機器が干渉しないように、本機とリモコンのリモコンモードを変更してください。（⇒ 18）

[DIMMER] を押すと ST-C700/SL-C700 の表示窓や操作タッチパネルの明るさが切り替わる

- [DIMMER] は ST-C700/SL-C700 にも働きます。明るさを変えたくない機器を電源「切」の状態にしてから、[DIMMER] を押してください。

PEAK POWER METER が動作しない

- 以下の場合メーターは動作しません。
 - － ヘッドホンを接続している場合
 - － [DIMMER] を押してメーターのライトが消灯している場合
 - － [MUTE] を押して消音している場合

システム接続機能が働かない

- システム接続ケーブルは、ST-C700/SL-C700 付属のものをお使いください。
- システム接続ケーブルは、システム接続端子 [CONTROL1]/[CONTROL2] に接続してください。ST-C700 は [CONTROL1] に、SL-C700 は [CONTROL2] に、それぞれ接続してください。
- 同軸デジタルケーブルは、デジタル音声入力端子 [COAX1 IN]/[COAX2 IN] に接続してください。ST-C700 は [COAX1 IN] に、SL-C700 は [COAX2 IN] に、それぞれ接続してください。

電源が突然切れる

- オートオフ機能が働いていませんか。（⇒ 18）
- ST-C700 とシステム接続している場合、連動して電源が切れることがあります。（⇒ 15、19）
- 本機には温度上昇による損傷を防ぐための保護回路が備わっています。長時間大きな音量で本機を使用すると、自動的に電源が切れる場合があります。温度が下がってから再度電源を「入」にしてください。（温度が下がるまで約 3 分かかります）

入力インジケータが点滅する

- 以下の場合入力インジケータが点滅します。
 - － [MUTE] を押して消音している場合
 - － 機器と接続していない状態で [PC]、[COAX1]、[COAX2]、[COAX3]、[OPT] を選んだ場合
 - － サンプリング周波数などの音声信号を正しく入力できていない場合

仕様

■ アンプ部

出力	45 W + 45 W (1 kHz, T.H.D. 0.3 %, 8 Ω、20 kHz LPF、JEITA) 70 W + 70 W (1 kHz, T.H.D. 0.5 %, 4 Ω、20 kHz LPF、JEITA)	
推奨負荷インピーダンス	4 Ω-16 Ω	
周波数特性	PHONO(MM)	20 Hz-20 kHz (RIAA DEVIATION ± 1 dB、8 Ω)
	LINE	20 Hz-80 kHz (- 3 dB、8 Ω)
	COAX1/2/3	20 Hz-90 kHz (- 3 dB、8 Ω)
入力感度 / 入力インピーダンス	LINE	200 mV / 22 kΩ
	PHONO (MM)	2.5 mV / 47 kΩ

■ 入出力端子部

ヘッドホン	ステレオ、φ6.3 mm	
USB	USB 規格	USB 2.0 High-speed
	USB オーディオ仕様	USB Audio Class 2.0、Asynchronous mode
	コネクタ	USB スタンダード B コネクタ
	再生フォーマット	LPCM(32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz、16/24/32 bit) DSD (2.8224 MHz、5.6448 MHz)
	DSD コントロールモード	ASIO Native mode、DoP mode DSD64/DSD128 playback
	チャンネル数	2 チャンネル
アナログ入力	LINE IN	ピンジャック
	PHONO (MM)	ピンジャック
デジタル入力	光デジタル入力	光角型端子
	同軸デジタル入力 ×3	ピンジャック
	サポートフォーマット	LPCM
システム接続	システム コントロール × 2	φ3.5 mm ジャック

■ 総合

電源	AC 100 V、50/60 Hz	
消費電力		73 W
	スタンバイ状態	約 0.3 W
	電源「切」状態	約 0.3 W
寸法 (幅×高さ×奥行)	340 × 132 × 325 mm	
質量	約 8.3 kg	
許容動作温度	0 °C ~ 40 °C	
許容相対湿度	35 % ~ 80 % RH (結露なきこと)	

注：この仕様は、性能向上のために変更することがあります。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() —
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな?」(⇒ 21)でご確認のあと、直らないときは、電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	ステレオインテグレートッドアンプ
品番	SU-C700
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。
※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このステレオインテグレートッドアンプの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

- 使いかた・お手入れなどのご相談は・・・

パナソニック 総合お客様サポートサイト	
http://www.panasonic.com/jp/support/	
パナソニック お客様ご相談センター <small>365日 受付9時～20時</small>	
電話	フリーダイヤル  0120-878-365 <small>※携帯電話・PHSからもご利用になれます。</small>
音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130#」を押してください。 (番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。)	
■上記番号がご利用 いただけない場合	■FAX フリーダイヤル  0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays) <small>※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。</small>	

- 修理に関するご相談は・・・

パナソニック 修理サービスサイト	
http://club.panasonic.jp/repair/ <small>インターネットでの依頼も可能です。</small>	
パナソニック 修理ご相談窓口	
電話	フリーダイヤル  0120-878-554 <small>※携帯電話・PHSからもご利用になれます。</small>
●上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。	

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検		長年ご使用のステレオインテグレートッドアンプの点検を！	
	こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none"> ・煙が出たり、異常なおいや音がする ・音が出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体に変形や破損した部分がある ・その他の異常や故障がある 	<p>▶</p> <p>ご使用 中止</p> <p>故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。</p>

保証とアフターサービス (よくお読みください) (続き)

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	
	旭川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166	
	帯広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3	
東北地区	函館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241	
	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1	
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1	
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43	
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18	
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75	
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前館2丁目5	
首都圏地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1	
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3	
	埼玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番	
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5	
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16	
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1	
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4	
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14	
	中部地区	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
富山		☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4	
福井		☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14	
長野		☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11	
静岡		☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24	
愛知		☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	
岐阜		☎ (058)278-6720	岐阜市中鶯4丁目42	
三重		☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421	
近畿地区		滋賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
		京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	門真市松生町1-15	
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地	
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市栗栖373-4	
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	
中国地区	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1	
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14	
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416	
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93	
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14	
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5	
四国地区	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1	
	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3	
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36	
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16	
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	
九州地区	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48	
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1	
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35	
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3	
	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3	
沖縄地区	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11	

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。 <http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html> 1114

パナソニック株式会社

ホームエンターテインメント事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号